

**AKAI**<sup>®</sup>  
PROFESSIONAL

---

MPC X

MPC LIVE

MPC LIVE II

MPC ONE

MPC KEY 61

MPC TOUCH

MPC STUDIO

v2.11 追補版

# MPC 2.11 へのアップデート

## 新機能

### MPC Key 61

MPC 2.11 は、Akai Professional MPC Key 61 に対応しています。

MPC Key 61 の操作について詳しくは、[機能 > MPC Key 61](#) をご覧ください。

MPC Key 61 には、Keyboard Control メニューがあり、ここでは鍵盤の設定を行うことができます。

**Keyboard Control メニューを開く**には、MPC Key 61 の **Keyboard Control** ボタンを押します。このメニューでは、下記パラメーターの編集を行うことができます。

#### Keyboard Input

**Transpose** : トランスポーズの設定です。最大 **36 セミトーン**まで上下に移調することができます。

**MIDI Channel** : 鍵盤の演奏などの MIDI メッセージ送信に使用する MIDI チャンネルを (**1~16**) から選択します。

**Aftertouch (Channel Pressure)** : アフタータッチの ON/OFF を切り替える設定です。ON にする場合は **As Played** を、OFF にする場合は **(Disable)** を選択します。

**Note On Velocity** : 鍵盤演奏 (Note On メッセージ) のベロシティの設定です。演奏したままのベロシティが良い場合は **(As played)** を選択します。鍵盤を弾く強さに関わらず一定のベロシティで演奏したい場合は、固定ベロシティの値を **12%, 18%, 25%, 31%, 37%, 43%, Half, 56%, 62%, 68%, 75%, 81%, 87%, 93%** もしくは **Full** (最大値) から選択し、設定します。

#### Scale Filter

**Filter Input** : 演奏するノートをフィルタリングする機能の設定です。 (**As played**) に設定するとこの機能は OFF の状態になります。 (**Snap to Scale**) に設定してスケール以外のノートを弾くと、設定したスケールの中で最も近いノートに差し代わった状態で鳴ります。 (**Filter to Scale**) に設定してスケール以外のノートを弾くと、そのノートは鳴らない設定にできます。

**Root Note** : 設定したスケールのルートノート (根音) を選択します。

**Scale** : 上記 Filter Input 機能で使用するスケールの設定です。選択可能なスケールは以下の通りです。

Chromatic	Pentatonic Minor	Aeolian	Hungarian Gypsy
Major	Dorian	Locrian	Persian
Natural Minor	Phrygian	Blues	Major Bebop
Harmonic Minor	Lydian	Flamenco	Whole Tone
Pentatonic Major	Mixolydian	Gypsy	

#### Internal Keyboard Routing

**Keyboard Route**: 鍵盤を演奏した際の MIDI データの送信先の設定です。選択可能な設定は以下の通りです。

**Local Off** : 鍵盤を演奏した際の MIDI データが MIDI out にのみ送信される設定です。外部サウンドモジュールを使用する場合に便利です。

**Global** : 鍵盤を演奏した際の MIDI データが選択中のトラックに送信される設定です。

**Tracks** : 利用可能なトラック MIDI 入力のリストにポートとして表示される設定です。

**Global and Tracks** : 鍵盤を演奏した際の MIDI データが選択中のトラックに送信され、トラック MIDI 入力として利用できる設定です。

## External Keyboard Routing

**MIDI Output Port** : 鍵盤を演奏した際の MIDI データを外部へ出力する為の MIDI ポートを決定します。

**Keyboard sends MIDI here** : このボックスをチェックすると、鍵盤を演奏した際の MIDI データが選択した MIDI 出力ポートに送信されます。

**MIDI Channel** : 鍵盤を演奏した際の MIDI データを外部への出力に使用する MIDI チャンネルを (1~16) から選択します。

**Minimum Note / Maximum Note** : 鍵盤を演奏した際の MIDI データを外部に出力するノートの音域を設定します。

## Keyboard Settings

**Velocity Response** : 鍵盤を弾いたときのベロシティ値を選択します。 **Light** (1~3) 、 **Linear**、 **Heavy** (1~3) から選択します。 **Custom** を選択すると、下記のオプションを調節したカスタマイズ・ベロシティ値に設定することができます。

**Velocity Curve** : このスライダーでベロシティカーブを -50~0~+50 間の数値に設定します。マイナスの値に設定するほど鍵盤を鳴らすのにより強い打鍵を必要とし、プラスの値になるほど鍵盤のレスポンスが良くなります。

**Gain** : このスライダーでベロシティカーブに追加するゲインを -20~0~+20 間の数値に設定します。マイナスの値に設定するほど鍵盤を鳴らすのにより強い打鍵を必要とし、プラスの値になるほど鍵盤のレスポンスが良くなります。

**Black Key Sensitivity** : このスライダーで鍵盤の黒鍵のみのレスポンスを -20~0~+20 間の数値に設定します。

**White Key Sensitivity** : このスライダーで鍵盤の白鍵のみのレスポンスを -20~0~+20 間の数値に設定します。

## Pedal Settings

**Pedal** : MPC Key 61 からのペダル入力ポートの設定です。 **Sustain**、 **FS2**、 **Expression** から選択します。

**Type** : 使用するペダルのタイプを選択します。 **Switch** (ON/OFF タイプのもの) もしくは **Variable** (エクスペッションペダルなど) から選択します。

**Polarity** : ペダル入力の極性の設定です。 **Auto**、 **Positive**、 **Negative** から選択します。ペダル操作に問題がある場合は、この設定を調整し、正しく動作するかお試しください。詳しくは、ご使用になるペダルの説明書などをご覧ください。

**CC Assign** : ペダルから送信される MIDI CC の割り当てです。 **Disable** (オフ) 、 **Default** (使用するポートによって異なります) 、 **CC 000~126** 間の数値のいずれかを選択します。

## Pitch Bend / Mod Wheel

**Pitch Bend** : ピッチベンド・ホイールから送信される MIDI CC の割り当てです。 **Disable** (オフ) 、 **Default - Pitch Bend**、 **CC 000~126** 間の数値のいずれかを選択します。

**Mod Wheel** : モジュレーション・ホイールから送信される MIDI CC の割り当てです。 **Disable** (オフ) 、 **Default - CC 001: Modulation**、 **CC 000~126** 間の数値のいずれかを選択します。

## Global Pitch Bend Settings

**Global Pitch Bend** : このボックスをチェックすると、すべてのプログラムのピッチベンド設定が無効になり、グローバルレンジの設定のみを使用する状態になります。チェックを外すと、すべてのプログラムはそれぞれのピッチベンド設定に戻ります。

**Range Up/Range Down** : このスライダーでピッチベンドの範囲をセミトーン (半音) 単位で設定します。

MPC Key 61 にはタッチストリップ・コントローラーがあり、Touch FX にも対応しています。

### MPC Key 61 でタッチストリップ・コントローラーを使用する

1. **Touch Strip ボタン** を押し、Touch Strip モードの選択に入ります。
  2. Touch Strip ボタンを繰り返し押し、MPC Key 61 のディスプレイに表示される Touch Strip モードを切り替えて選択する。選択可能なモードは以下の通りです。
    - Notes
    - Pitch Bend
    - Mod Wheel
    - Sustain
    - Expression
    - Q-Link
    - Pad level
    - Program Level
    - Project
- また、タッチストリップボタンを長押しして、ディスプレイに表示されるウィンドウでモードを選択することもできます。
3. **タッチストリップ・コントローラー** を指で押しながら上下に動かすと、選択したパラメーターを自在にコントロールすることができます。
  4. **Shift** を押しながら **Touch Strip ボタン** を押すと、各モードの設定を行うことができます（設定可能なものに限る）。

### FX プラグインを MPC Key 61 にロードするには

1. 任意のチャンネルストリップの **Inserts** セクションの空きスロットをタップします。
2. エフェクトウィンドウの空の Insert スロットをダブルタップして、プラグインエフェクトのリストを開きます。
3. **(+)** ボタン または **(-)** ボタンをタップし、**Harmonic** カテゴリを展開します。
4. **TouchFX** プラグインを選択します。
5. **鉛筆アイコン** をタップしてプラグインウィンドウを開くと、プラグインの設定を調整することができます。

**注意：** スタンドアロン・モードでは、空のプロジェクトを開始すると、自動的に Touch FX のインスタンスが出力 1/2 に配置されます。

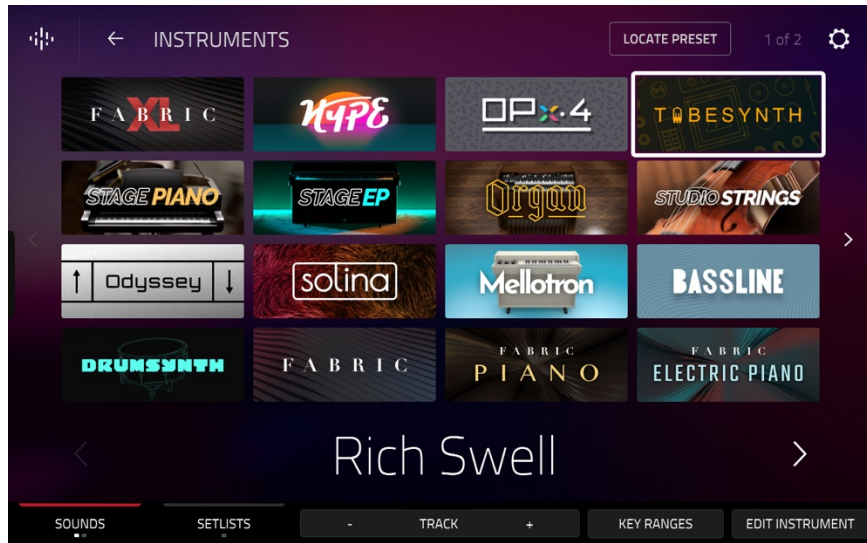
**Shift** を押しながら **Touch FX ボタン** を押すと、Touch FX セットアップウィンドウが開きます。このウィンドウからチャンネルストリップに Touch FX を挿入することもできます。

### MPC Key 61 で Touch FX を使用する

1. タッチストリップ・コントローラーはデフォルトで Touch FX モードに設定されています。Touch FX モードになっていない場合は、**Touch FX ボタン** を押します。
2. **Shift** を押しながら **Touch FX ボタン** を押すと、Touch FX セットアップウィンドウが開きます。  
タッチスクリーン下部の **Touch FX Setup ボタン** を押すと、FX ウィンドウが開きます。
3. セットアップが完了したら、**Touch FX ボタン** を長押しすると、使用可能なエフェクトを素早く選択することができます。

## Sounds and Favorites

付属のインストゥルメント・プラグインをブラウズするための新しいメニューとして、「Sounds」と「Favorites」の2つのメニューが追加されました。



「Sounds」もしくは「Favorites」メニューを開く方法

- Main モードで、プラグイントラックを選択し、Program セクションの **Sounds** または **Favorites** ボタンをタップします。
- Menu、**Sounds** の順にタップします。
- **Sounds** をタップします。(MPC Key 61 の場合)

**Sounds** もしくは **Favorites** メニューを開いている状態でタッチスクリーン下部の一番左のタブをタップすると、もう一方のメニューに切り替わります。

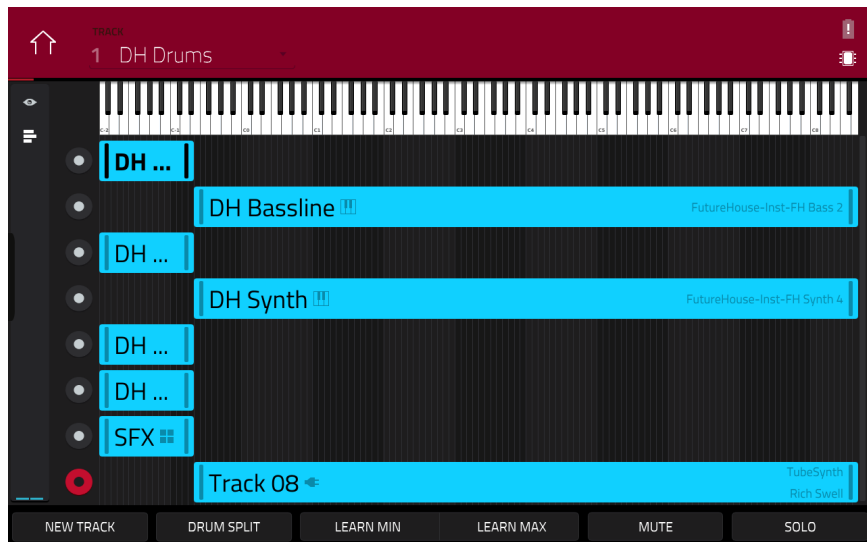
タッチスクリーン上部の歯車アイコンをタップすると、Sounds メニューの設定が表示されます。ここでは、Sounds メニューのデフォルトビューを **Instruments** または **Current Preset** に設定することができます。

タッチスクリーン上部の **Locate Preset** をタップすると、現在選択されているインストゥルメント・プラグインのプリセットリストが表示されます。

**Track -/+**のいずれかをタップすると、前または次のトラックに移動します。

Tap the ← **Instruments** ボタンをタップし、Sounds インターフェースから検索する別のプログラムタイプを選択します。検索は、すべてのエクステンションやユーザーフォルダから **Drum**、**Plugin**、**Keygroup**、**Clip**、**MIDI**、**CV** のプログラムタイプ毎に選別して行うことができ、タップでロードすることができます。

**Favorites** メニューでプラグイン以外のプログラムをセーブしてある場合、空きスロットを長押しすると、セーブしたプログラムの優先フォルダを瞬時にロードすることができます。



**Key Ranges** をタップすると、各トラックの MIDI キーレンジを設定することができます。これにより、MPC Key 61 から複数の楽器を演奏することができます。

新しいトラックを追加するには、**New Track** をタップし、追加するトラックの種類を選択します。

ドラムトラックのキーレンジを瞬時に調整するには、**Drum Split** をタップします。これにより、キーレンジが自動的にキーボードの最初の 16 音に設定され、パッド 1~16 にもアサインされます。これは、MPC Key 61 の鍵盤でメロディを、パッドでドラムサウンドを同時に演奏する場合に便利です。

キーレンジを調整するには、各トラックの青いバーの両端をタップしてドラッグします。または、**Learn Min** または **Learn Max** をタップし、接続されたキーボードの鍵盤を押して、そのノートを最小値または最大値として設定することもできます。

現在のトラックをミュートするには、**Mute** をタップします。

現在のトラックをソロ再生するには、**Solo** をタップします。To solo the current track, tap Solo.

現在のトラックのチャンネルストリップを表示するには、タッチスクリーンの左側にある目のアイコンをタップします。

タッチスクリーン下部の **Edit Instrument** をタップして Program Edit Mode を開くと、インストゥルメントのパラメータを調整することができます。

### プリセットを Favorite (お気に入り) としてセーブする方法

1. Sounds メニューで、目的のプラグインとプリセットを選択する。
2. Sounds メニューの左下のタブをタップするか、Main モードの Plugin Program セクションの Favorites をタップして、Favorites メニューを開く。
3. Favorites の空きスロットを長押しして、選択したスロットにプリセットを保存する。

既存の Favorite スロットを長押しすると、以下の編集を行うことができます

- **Clear** を押して既存の Favorite を消去する
- **Overwrite** を押して既存の Favorite を現在選択されているプリセットに置き換える

### Performances

Performances タブは、MPC Keys Performance expansion をインストールした MPC Key 61 で使用することができます。スロットの 1 つをタップすると、MPC Key 61 のレイヤリングとキースプリット機能のサンプル・パフォーマンス・プロジェクトがロードされます。各パフォーマンス・プロジェクトには、キー・レンジにマッピングされたドラムキットと複数のインストゥルメントがロードされ、すぐに使用することが可能になります。

## Setlists

Setlists タブでは、ライブパフォーマンス中などに即座にロードできるプロジェクトのセットリストを作成することができます。

### Setlist を作成する方法

1. Sounds ページから Setlist タブを開く。
2. 空の Setlist スロットを長押しし、**Choose Project** をタップする。
3. 表示されたファイルブラウザーで、追加したいプロジェクトを探し、**Select** をタップしてロードする。

既存の Setlist スロットを長押しすると、以下の編集を行うことができます

- **Choose Project** を押して Setlist スロットに別のプロジェクトをアサインする
- **Clear** を押して既存の Setlist を消去する
- **Copy** を押して Setlist スロット内のプロジェクトをコピーし、別の空の Setlist スロットを長押しして **Paste** を押すことでプロジェクトをペーストする

## 新たなインストゥルメント・プラグイン

スタンドアロン MPC、MPC ソフトウェア、サードパーティ DAW ソフトウェアなどで使用できる新しいインストゥルメント・プラグインの数々が購入可能になりました。

**AIR OPX-4** は FM のクラシックなサウンドを再現するパワフルな 4 オペレータの FM シンセ・エンジンです。視認性と操作性が高く、インターフェイス上でエフェクトやパラメーターを操作することでサウンドデザインに没頭することができます。

### 特徴

- フィードバック、フォルマントシェイピング、FM フィルタリング、FM シェイピングパラメーターにより複雑な波形を生成することができる 4 つのオペレータ
- 23 種類のフィルターを搭載したデュアルモードフィルターパス
- BPM にシンクしたループ機能を持つ 6 つのエンベロープ
- LFO と Ramp をそれぞれ 2 系統ずつ搭載
- リバース、ディレイ、モジュレーション、ディストーションなど 27 種類の AIR エフェクト・ライブラリーを搭載した 3 つのインサートエフェクトスロットと 2 つのグローバルエフェクトスロット
- 32 スロットのモジュレーションマトリクス
- パーカッシブなアタックを追加するためのサンプルレイヤー
- 670 種類以上のファクトリー・プリセット

**AIR Stage Piano** は、全く新しいフラッグシップ・アコースティック・ピアノ音源です。美しいインターフェイス上でピアノ音色のダイナミクス、年代、フォルマントを変更することにより、各ピアノ・モデルのサウンドを好みに合わせて微調整でき、ノートリリース・サンプルとサスティン・レゾナンスを調整してリアルな音質を追求することができます。深みのある豊かな音が特徴的なコンサート・グランドピアノや、活気的なジャズクラブサウンドを再現するアップライトピアノなど、インスピレーションを自在に表現できるピアノコレクションです。

### 特徴

- 上級者向けのアコースティック・ピアノ・サウンド・エンジン
- 最大 6 レイヤーまで使用可能なベロシティレイヤー
- 4 種類のマルチサンプルアコースティックピアノ音源内蔵：Yamaha C7、Steinway D、Bechstein Upright、Workstation
- シンパセティック・レゾナンス
- ハンマーフォールとスタッカートリリースレイヤー

- イコールチューニングとストレッチチューニング
- 5種類のAIRエフェクト内蔵：Flavor、Compressor、EQ、Delay、Reverb

**AIR Stage EP** は、魅力的なエレクトリック・ピアノの豊かなサウンドを内蔵した新たな電子ピアノ音源です。アコースティック・ピアノやFM音源を含む5つのエレクトリック・ピアノ・モデルが搭載されており、オリジナル・ピアノが持つ温かみと、モダンかつクラシックなエレクトロニック・サウンドを再現します。

#### 特徴

- 上級者向けの電子ピアノ・サウンド・エンジン
- 最大12レイヤーまで使用可能なベロシティレイヤー
- 5種類のマルチサンプル電子ピアノ音源内蔵：Rhodes、Rhodes Hot、Suitcase、Wurlitzer、Pianet
- アコースティックレイヤーとFMメカニックレイヤー
- 7種類のAIRエフェクト内蔵：Chorus、Tremolo、Amp Sim、Compressor、EQ、Delay、Reverb

**AIR Studio Strings** は、オーケストラ、チェンバー、ソロ・ストリングスの豊かでエレガントなサウンドを内蔵したオーケストラ音源です。ヴァイオリン、チェロ、ベース、ヴィオラなどの弦楽器を組み合わせた強力なサンプル・ライブラリーで美しい音色を奏することができます。

#### 特徴

- 上級者向けの4パート・サンプルベースの弦楽アンサンブルエンジン
- オーケストラ、室内楽、ソロのサンプルセット
- ユニークなインテリジェント・レガートエンジン
- 4種類のAIRエフェクト内蔵：Flavor、EQ、Delay、Reverb

**AIR Organ** は、あらゆる音楽シーンに対応するドローバー・オルガン音源です。本物のヴィンテージ・オルガンからサンプリングされた10種類のトーンホイール・セットと、AIR DB33のロータリー・スピーカー・シミュレーションを内蔵し、視認性の高いUIを搭載。表現力豊かなサウンドが実現します

#### 特徴

- 上級者向けのドローバーオルガン・エンジン
- ヴィンテージオルガンからサンプリングされた10種類のドローバーモデル
- パーカッションレイヤーとキークリックサウンド
- スキャナービブラート
- 4種類のAIRエフェクト内蔵：Rotary、EQ、Delay、Reverb

Fabricシリーズには、4つの新しいインストゥルメント・プラグイン：Fabric XL、Fabric、Fabric Piano、Fabric Electric Pianoがあります。

**Fabric XL** は、あらゆる制作ニーズに対応するサンプルベースシンセサイザーです。ツイストとダークモーションパッド、ドローンとサブベース、アコースティックとエレクトリックギター、アコースティックとエレクトリックピアノ、クラシックポリとリードシンセなどのプリセットが内蔵された音源コレクションです。

**Fabric** は、Fabric XLからサンプルのキーマップを外したインストゥルメント・プラグインで、Fabric XLよりメモリの消費が少ないバージョンです。

**Fabric Piano** と **Fabric Electric Piano** は、それぞれフラッグシップモデルのStage PianoとStage EPのサウンド特性を、よりCPU負荷の低い形で実現したインストゥルメント・プラグインです。また、ローファイなサウンドを実現するグリットエフェクトAIR Flavorなど、充実した編集機能と内蔵エフェクトを搭載しています。



## インストール・プラグインの有効化

ご購入した MPC インストール・プラグインは、スタンドアロン MPC、MPC ソフトウェア、サードパーティ DAW ソフトウェアで有効化することができます。

**注意：**プラグインの有効化には、インターネットへの接続が必須となります。

### インストール・プラグインを有効化する方法

1. **Menu** を押すか、スクリーン左上のアイコンをタップして **Preferences**（環境設定）メニューを開き、画面下部の **Preferences** アイコンをタップする。
2. まだ接続していない場合は、**Wi-Fi** または **Ethernet** メニューを使用し、インターネットに接続する。
3. スクリーン左側の **Activate Plugins** を押す。
4. **Log In** をタップして、inMusic プロフィールにログインします。携帯端末で QR コードを読み取るか、ページに表示される URL を任意のブラウザで開いてください。アカウントをお持ちでない場合は、アカウント作成に誘導するページが表示されます。
5. inMusic プロフィールにログインすると、プラグインの有効化や、無料トライアル版のプラグインへのアクセスも可能になります。

**無料トライアル版を試す**には、そのプラグインの隣にある **Start Trial** ボタンを押します。

**購入したプラグインを登録する**には、Enter Serial 欄にシリアル番号を入力し、**Register** ボタンを押します。

**プラグインの登録や購入後は**、**Refresh** ボタンを押してページを更新してください。

**購入したプラグインを有効化する**には、そのプラグインの隣にある **Activate** ボタンを押します。**Deactivate** ボタンを押すと、そのプラグインはデバイス上で無効化されます。

**購入したプラグインをデバイスにダウンロードする**には、まずタッチスクリーン下部の **Change** ボタンをタップし、コンテンツダウンロードドライブを接続された SATA ドライブ、USB ドライブ、または SD カードから選択します。次に、**ダウンロードアイコン**を押すとダウンロードが開始します。ダウンロードアイコンが変化し、インストールの進行状況が表示されます。完了するとプラグインが使用可能になります。

**Log Out** を押すと、inMusic プロフィールからログアウトすることができます。

## 新たなインサート・エフェクト

2種類の新たなインサート・エフェクト、AIR Amp Simulation と AIR Flavor が追加されました。

### AIR Amp Sim

ギターアンプやベースアンプのシミュレーターで、幅広いキャビネットモデルとトーンシェイピングオプションが使用できます。

パラメーター	パラメーターレンジ	初期設定
Cab Model	D.I., Brit, 1x8", 1x12", 2x10", 2x12", 4x10", 4x12", 1x15" Bass, 4x10" Bass, Radio	4x10"
Drive	0.0-11.0	0.0
Mode	Mono, Stereo	Stereo
Output	-12.0 - 0.0 - +12.0 dB	0.0 dB
Soft Clip	0-100%	0%
Top Boost	0-100%	0%
Bias	0-100%	0%
Bass	-12.0 - 0.0 - +12.0 dB	-12.0 dB
Mid	-12.0 - 0.0 - +12.0 dB	0.0 dB
Mid Freq	250 Hz - 4.00 kHz	1.00 kHz
Treble	-12.0 - 0.0 - +12.0 dB	0.0 dB

### AIR Flavor

ラジオ、電話、テープマシンなどのEQシミュレーターで、音の音色を劇的に変化させることができます。

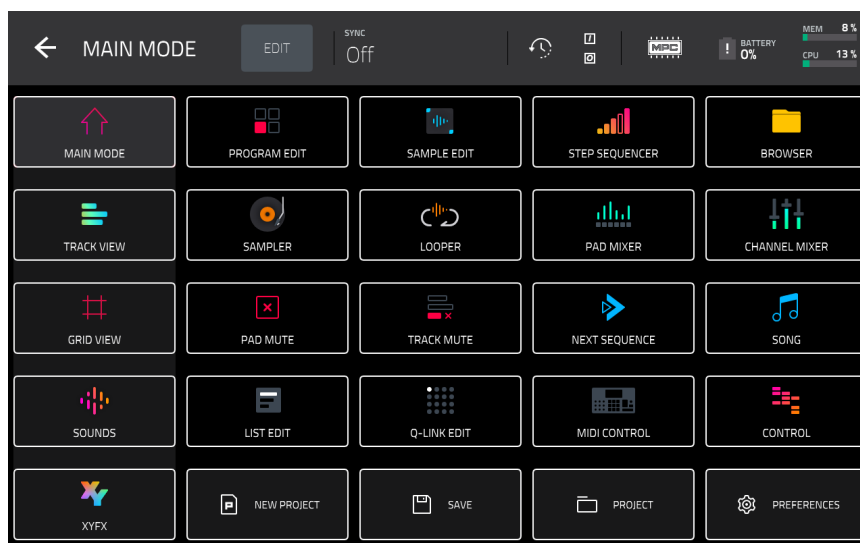
パラメーター	パラメーターレンジ	初期設定
Timbre	Varies	Neutral
Timbre Depth	0-100%	100%
Vinyl Distortion	0-100%	0%
Vinyl Noise	0-100%	0%
Flutter	0-100%	0%
Monofy	0-100%	0%

また、MPC プラグインでは以下の点が改善されています。

- Rack FX のプリセットが更新され、AIR Flavor と AIR Amp Sim のエフェクトを使用するプリセットが追加されました。
- Akai Granulator エフェクトに3つのパラメーター (Reverse, Shape, Skew) が追加され、より細かくコントロールできるようになりました。
- AIR Vocal Tuner にファクトリー・プリセットの一式が追加されました。
- AIR Reverb にファクトリー・プリセットが追加されました。

## メニューアイコン編集/ショートカットパネル

Menu 画面内の各メニューアイコンや、ショートカットアイコンを並べ替えることができるようになりました。



### メニューアイコンを並べ替える方法

1. **Menu** を押すか、任意のモード表示中にスクリーン左上のアイコンをタップする。
2. タッチスクリーンの上部にある **EDIT** ボタンを押すか、**SHIFT** ボタンを長押しする。メニューアイコンの輪郭が上記のように白く囲まれた状態になり、編集が可能になります。
3. メニューアイコンを好きな場所にドラッグし、並べ替えます。  
スクリーンの一番左の列に配置されたメニューアイコンはショートカットメニューパネルです。この列に入ったメニューは別モード使用中にもアクセスすることができます。  
スクリーンの一番下の行は2つ目のショートカットメニューになっており、デフォルトでは NEW PROJECT (新規プロジェクト作成)、SAVE (プロジェクトや MPC ファイルのセーブ) PROJECT (Project リストを開く) PREFERENCES (環境設定を開く) の4つが配置されています。  
上記2つのショートカットエリアより内側にある 16 メニューアイコンは、**MENU** ボタンを押しながら 16 パッドのいずれか (の同じ位置にある) をタップすることでも選択できます。
4. 編集内容を実行して終了するには、再度 **EDIT** ボタンを押すか、**SHIFT** ボタンを長押しします。

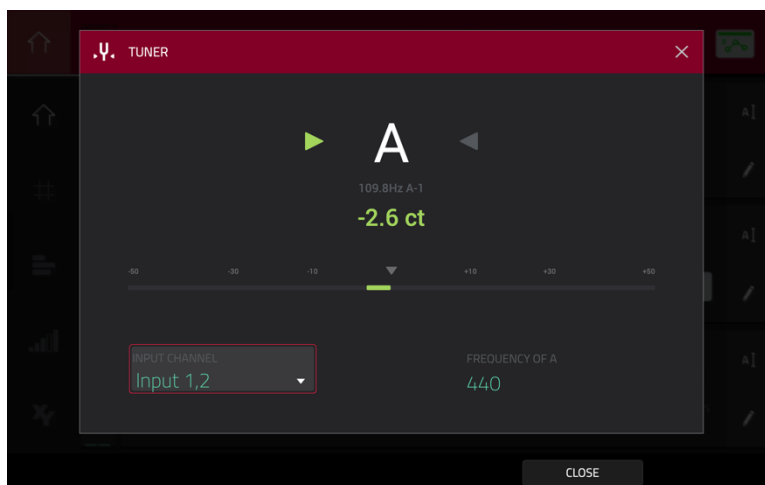
メニューアイコンの並びを初期設定に戻すには、**SHIFT** ボタンを押しながらタッチスクリーンの上部にある **RESET** ボタンを押します。

ショートカットメニューパネルを使用するには、任意のモードを使用中にスクリーンの一番左から指を右にスワイプすると引っ張り出すことができます。

上記の状態からショートカットメニューパネルを非表示にするには、パネルを右から左にスワイプするか、ショートカットメニューパネル内のメニューのいずれか一つを押します。

## 内蔵チューナー

スタンドアロン MPC 用にチューナー機能が新たに追加されました。ギターやベース、シンセモジュールなど、接続した楽器を簡単にチューニングできるようになります。



### 内蔵チューナーを使用する方法

1. **Menu** を押すか、任意のモード表示中にスクリーン左上のアイコンをタップする。
2. タッチスクリーンの上部にある **Y 字の音叉アイコン** を押します。
3. 上記の図と同じ画面になります。
  - **INPUT CHANNEL** ドロップダウンメニューで、チューニングを行うオーディオソースの接続された入力を選択します。
  - **Frequency of A** フィールドで、チューニングの基本ピッチを設定します。
4. 音を出して、インジケータで楽器を正しい音程に合わせます。
5. チューナー画面を閉じるには、**CLOSE** ボタン、スクリーン右上の **x**、またはウィンドウの外側をタップします。

Y 字の音叉アイコンは、**Sampler** モードでもタッチスクリーン上部に表示されます。

### Note Probability 機能と Note Ratchet 機能

Note Probability 機能と Note Ratchet 機能を使用すると、繰り返し再生されるビート、リズム、メロディラインにユニー**GRID VIEW** メニューまたは 16 Level 機能を使用してアクセスすることができます。

### GRID VIEW メニューから Note Probability 機能もしくは Note Ratchet 機能を使用する方法

1. **GRID VIEW** メニューアイコンを押して開く
2. スクリーン右下の矢印ボタン (**^**) を押して Velocity/Automation セクションを開く
3. 矢印ボタン (**^**) の左側にパラメーターを変更するボックスがあり、初期設定ではここは Velocity となっています。このボックスをタップし、**データダイアル**か**-/+ボタン**で **PROBABILITY** もしくは **RATCHET** を選択します。また、このボックスをダブルタップすれば、パラメーターをタッチで変更することもできます。
4. 青いバーを調節して、**PROBABILITY** もしくは **RATCHET** の設定を調節します。これらいずれかの機能が有効化されたノートは、元のノートの上に点線が表示されます。

**PROBABILITY** もしくは **RATCHET** 設定の表示や調節は、**STEP SEQUENCER** メニューから行うこともできます。**STEP SEQUENCER** 画面では、スクリーン左上にパラメーターを変更するボックスがあり、初期設定ではここは Velocity となっています。このボックスをタップし、**データダイアル**か**-/+ボタン**で **PROBABILITY** もしくは **RATCHET** を選択します。また、このボックスをダブルタップすれば、パラメーターをタッチで変更することもできます。

バーを調節して、PROBABILITY (1~100%)もしくは RATCHET(Off もしくは 2~8)の設定を調節すると、値が PARAMETER フィールドに表示されます。RATCHET の値は、スライダーの下にあるノートオンボタンにも表示されます。

## 16 Level 機能を使用して Note Probability 機能もしくは Note Ratchet 機能を使用する方法

1. Note Probability 機能もしくは Note Ratchet 機能を使用したいノートの入ったパッドを押す。
2. **16 Levels** ボタンを押して、16 Levels ウィンドウを開く。
3. 16 Levels ウィンドウで、TYPE フィールドを PROBABILITY または RATCHET に設定する。
4. これで 16 個のパッドで PROBABILITY または RATCHET の設定を調節できるようになります。

PROBABILITY または RATCHET の設定は、MPC パターンファイル(.mpcpattern)の一部としてセーブ/ロードされます。

## Pad Perform を活用した 16 Level 機能の使用

Pad Perform 機能が 16 Level 機能と併用できるようになりました。

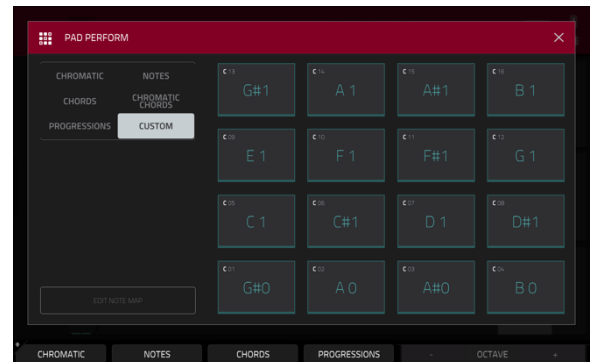
### 特徴

- パッドが1つのノートを演奏する Pad Perform モード (Chromatic、Notes、Custom) の場合、16Level 機能を有効にすると、選択中のノートに適用されます。
- パッドに複数のノートがあるパッドパフォームモード (Chords、Chromatic Chords、Progressions) では、16Level 機能を有効にすると、選択中のコードのルートノートに適用されます。
- keygroup 以外のメロディックなプログラムでは、16Level 機能と併用できるのは Velocity、Probability、Ratchet の機能のみです。

Pad Perform > Progressions のメニューには、新たな5つのコード進行が追加されました。

Pad Perform モードでは、オリジナルのパッド・ノートマップを作成して使用することのできる **CUSTOM** という Type が追加されました。以下の方法で使用することができます。

1. **Edit Note Map** ボタンをタップして、編集を開始する。
2. パッドをタップするか、画面上の **Pad** フィールドでパッドを選択する。
3. **MIDI Note** フィールドで希望するノートを設定します。
4. 編集を終えたら、**CLOSE** ボタン、画面右上の×、またはウィンドウの外側をタップします。



また、以下の3つのプリセットを選択することもできます。

**Chromatic C1、Chromatic C2、Classic MPC**

## Track MIDI Perform の設定

MPC Track View で、MIDIトラックのMIDIパフォーマンス設定を編集できるようになりました。同じMIDIコントローラーで複数のトラックを同時にコントロールすることがより簡単に行えるようになりました。

### Track MIDI Perform の設定ウィンドウを開く方法

1. **Menu** ボタンを押し、**TRACK VIEW** をタップして開きます。
2. 目的のMIDIトラックの右側、MUTE、SOLO ボタンの下にある **FILTER** ボタンをタップする。
3. 表示されたウィンドウでは、以下の設定を行うことができます。
  - **Note Range** : MIDI を通過するノートの **Note Min** (最小値) から **Note Max** (最大値) の範囲を設定します。この範囲外のノートは、トラックでは聞こえません。また、Track View の **Keyrange** フィールドで **Learn** をタップすれば直接調整することもできます。
  - **Velocity Range** : MIDI を通過するベロシティの **Velocity Min** (最小値) から **Velocity Max** (最大値) の範囲を設定します。この範囲外のノートは、トラックでは聞こえません。
  - **MIDI CC Filter** : ボックスにチェックを入れると、そのMIDI CCメッセージをトラックで通過させることができます。チェックを外すと、そのMIDI CCメッセージの種類はトラックで無視されます。チェックを入れることのできるMIDI CCメッセージは以下の通りです。

CC1 Modulation	CC65 Pmento (Portamento) On/Off
CC2 Breath	CC66 Sost (Sostenuto) On/Off
CC3 Undefined	CC67 Soft Ped (Soft Pedal) On/Off
CC4 Foot	CC68 Legato Switch
CC5 Portamento	CC128 Pitchbend
CC7 Volume	CC130 Program Change
CC10 Pan	CC129 Channel Pressure
CC11 Expression	CC131 Aftertouch
CC64 Sustain On/Off	

## MIDI Control Mode への改善点

MIDI Control Mode に2つのツールバーが追加されました now has two additional toolbar items:

- MIDI Control Mode ページ上での **MIDI Output Port** フィールドで、MIDIの送信先を設定できるようになりました。これは **Preferences > MIDI/Sync > Output Ports > MIDI Control Mode** にある設定と同じです。
- **I/O** アイコンをタップすると **MIDI Monitor** が表示されます。ここではMIDIメッセージの入出力を確認することができます。

## ワークフローの改善点

AIR DrumSynth-Multi のプラグインインストゥルメントにミュートグループが追加され、ファクトリー・プリセットで使用できるようになりました。

MPC ソフトウェアは Ableton Link v3 に対応可能となりました。

**Preferences > MIDI / Sync > Sync Receive** で **Ableton Start/Stop Sync** パラメータを有効化すると、MPC トランスポートを外部の Ableton Link デバイスと同期させることができます。

**Preferences > Hardware > General** に新たな設定が追加されました。ここでは、**Shift** と **Q-Link** ボタンを同時に押した際の機能を「Q-Link Edit window を開く」もしくは「Cycle Backwards」を行うかを選択することができます（MPC X を除く）。

「Master」は「Global」もしくは「Main」と名前が変わりました。

Drum Program ノートマップは、「C1」から始まる「Chromatic」が新たな初期設定となりました。

Project メニューに、Audition 機能ボタンが追加されました。

アルペジエーターと XYFX の設定は MPC Project にセーブ/ロードされるようになりました project.

Program Edit モードでスクリーン上部の**キーボードアイコン**をタップすると、ドラムサンプルを新しい Keygroup プログラムに素早く変換できるようになりました。

ドラムパッド・レイヤーにアサインされた **Slice** にオートメーションを加えることができるようになりました。

インストゥルメント・プラグインのプリセットでは、ロード・プログレスバーが表示されるようになりました。

未使用のトラック(Unused)のプログラムで Plugin/Keygroup/Clip/MIDI/CV program などのみを変更した際、使用済みトラックとして名前が変わってしまう不具合を修正しました。

Preferences メニューでテンプレートが設定されていない状態で、デモ画面上で **User Template** オプションを選択すると、テンプレートをどこへ設定するか示すポップアップが表示されるようになりました。

**AKAI**<sup>®</sup>  
PROFESSIONAL

---

[akaipro.com](http://akaipro.com)